

しきゆたか 多収米 生育調査 速報 No. 1

福井基幹支店
JA福井県
多収米部会

福井県内ナンバーワン単収を誇る 超多収性品種!!

令和4年 5月27日

●「しきゆたか」は根の成長確保のため、水管理でワキ対策を実施。

1. JA生育調査状況 (5月25日現在)

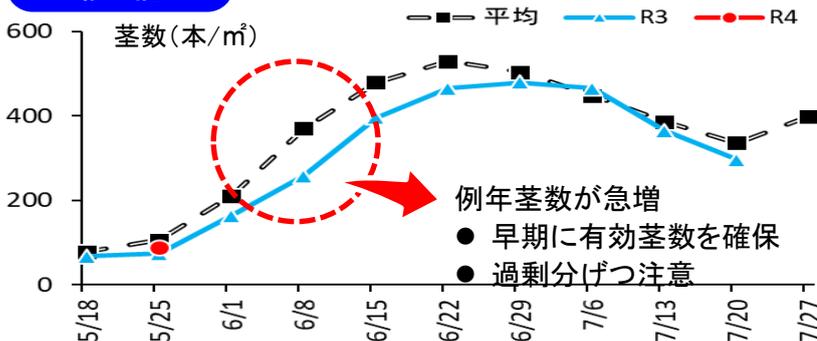
栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	R4	5月3日	23.8	88.0	—	3.8
	R3	5月2日	27.6	74.2	4.3	3.9
直播	R4	5月5日	11.7	80.9	—	3.6
	R3	5月5日	16.8	102.3	—	3.8

昨年同様、緩やかな生育で推移しています。今後は、気温の上昇とともに分けつが進みます。有効茎数の確保を見極め、適期に中干し(溝切り)を実施しましょう。

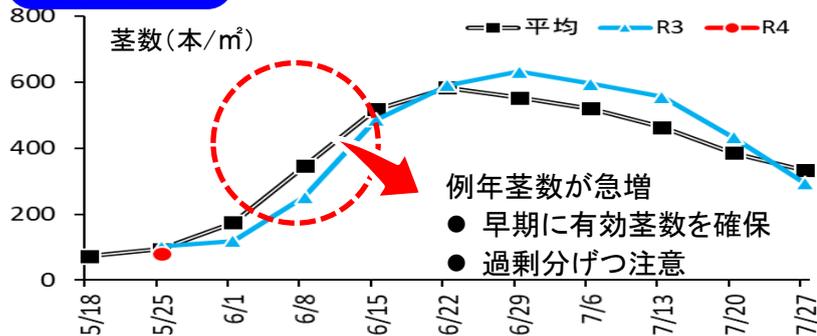
6月上旬の茎数管理が重要!!

2. 茎数の推移と今後の管理

移植



直播



- 例年、田植え30日後ぐらいから茎数が急激に増加します。
- 昨年、収量不足を感じた方は、初期に有効茎数の確保を図りましょう。



しきゆたかの栽培管理ポイント

移植

- ワキの発生が見られたら、1~2日落水し田干しを行いましょう。
- 藻の発生が多い圃場は、田干しや専用薬剤での対応を実施しましょう。
- 移植後1ヵ月程経過する時期です。例年、6月上旬に茎数250本/m²になる見込みです。適宜圃場の茎数を確認し、適期中干しを実施しましょう。(湿田では早めに実施)

直播

- ヒエ・ホタルイ等の雑草が見受けられるようになってきました。流し込みの除草剤など中後期剤を活用し、早めに雑草の生育を抑えましょう。

3. 中干しのイメージ

■ 移植栽培で6月上旬頃から、直播栽培で6月中旬頃から中干し開始となります。

【捕植用苗の処分】

イモチ病のもととなる捕植用苗を早急処分して、イモチ病の発生に注意する。

【軟弱徒長の抑制】

日照不足と深水管理による稲の軟弱徒長は、活着後の浅水管理や田干しを実施。

● 中干し開始

6月上旬

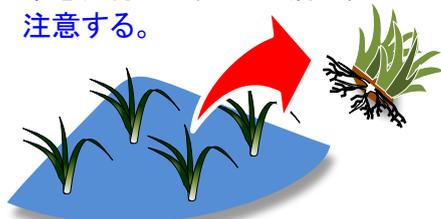
6月中旬

● 溝切り

● 中干し期間

7月上旬まで

7月中旬まで



適期管理で収量アップを目指しましょう。今週のしきゆたか速報は『中央支店』が担当しました。